

○平成29年度教育事業

「ダンボールでつくっちゃおう！」(H29.9.2(土)～3(日))

平成29年度国立大雪青少年交流の家教育事業

# ダンボールでつくっちゃおう！

～遊んで身に付く36の基本的な動き～  
9/2(土)～3(日)

WEB申込はコチラ！

**【日程】**

									13:00	13:30	14:00			17:00	17:30	19:00	20:00	22:00	
1日目									受付	開会式	ダンボールを使って創作			つどい	夕食		制作物で遊ぶ	入浴・自由時間	就寝
									7:15	7:30	8:15	9:00	10:30	11:30	12:00	13:00			
2日目									つどい	朝食	清掃	制作物を手直し・改善	作品発表・制作物で遊ぶ	閉会式	昼食	解散			

※募集締切 8/25 まで  
【参加費】大人：2,180円 小学生：2,140円  
3歳以上未就学児：1,730円

独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
**国立大雪青少年交流の家**  
National Taisetsu Youth Friendship Center  
〒071-0235 北海道上川郡美瑛町白金温泉  
TEL:0166-94-3121 FAX:0166-94-3223  
e-mail taisetsu-suishinshitsu@niye.go.jp  
担当：水野・小林・是安

◆目的

- (1) 遊びを中心とした幼児期の運動プログラム「遊んで身に付く36の基本的な動き」を活用したダンボールの制作物をつくる。
- (2) ゆーすフェスタでの36の動きブースにて出展し、ゆーすフェスタへの参加者につなげる。

◆参加実績(募集30名)

参加29名(8家族)

【内訳】

- ・旭川市 19名
- ・富良野市 3名
- ・名寄市 1名
- ・上富良野 1名
- ・美瑛町 5名

◆プログラム

- ①ダンボールを使って創作・・・(150分)
  - ・「遊んで身に付く36の基本的な動き」を取り入れて遊ぶ事ができるお城の作成を課題とし、ダンボールを自由に使って創作する活動。
- ②制作物で遊ぶ・・・(60分)
  - ・制作したお城で実際に遊ぶ時間。
- ③制作物の手直し・改善・・・(90分)
  - ・昨日遊んでみた結果をふまえ、さらに楽しく遊べるように工夫するため手直し・改善を行う時間。
- ④作品発表・交流時間・・・(60分)
  - ・班ごとに制作したお城の発表及び取り入れた36の動きの紹介。



◆成果

- ①子どもたちや大人の交流の場となった。
- ②制作したものが別の事業で展示され、実際に遊ぶ事ができること。

◆参加者の声

- ・子ども同士の交流が出来て良かった。
- ・子どもでも参加しやすい活動内容となっていた。
- ・小学生、幼児の子供が作るにはダンボールがかたいので難しそうでした。
- ・また参加したい。
- ・大きなダンボールを使っていろいろ工夫して作るのは参加者にとってとても楽しかった様子です。
- ・子ども達の考える力もついたと思います。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・遊具に「遊んで身に付く36の基本的な動き」のアイコンを貼付させる。【写真1】  
制作過程で子どもの体の動きを意識したつくりや仕掛けを考えるきっかけとなった。
- ・職員が事前に見本の遊具を制作する。【写真2】  
ある程度の大きさと完成度の見本を提示することで、制作物のイメージをつかむことができた。
- ・遊具で遊ぶ時間を十分に確保する。  
創作活動後に遊ぶ時間を設け、夕食を挟んで破損の補修や改良の時間を確保し、翌日にまた遊ぶ、という遊びの時間を多くしたプログラムとしたことにより、活動の意欲が持続した。

※材料の確保

- ・ダンボール【写真3】  
1グループあたり約10個使用した。大きさも多様なものを準備する必要があり、特に、冷蔵庫や洗濯機などの大型家電のものは必須である。  
(協力企業：100満ポルト旭川店、ベスト電器美瑛店)
- ・ガムテープ(クラフトテープは制作には不向き)【写真4】  
様々なカラーのもの(今回は8色)があると、装飾にも使える。
- ・ダンボールカッター  
ダンボールの加工には普通のカッターよりも使い勝手が良く、操作性も幼児や小学生低学年にあったものである。

◆事業運営予算

消耗品費	12,000円
郵送料	1,000円
印刷費	7,000円
燃料費	2,000円
合計	22,000円



【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】